

第八十六回 帝國議會 貴族院 地方鐵道及軌道ニ於ケル納付金等ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第五號

付託議案

○船員保險法中改正法律案

昭和二十年二月三日(土曜日)午後一時八分開會

○委員長(伯爵三荒芳徳君) 開會致シマス、尙前會ニ引續キマシテ質疑ニ移リマス

○村上泰一君 船員ノ保險ノ外ニ色々ナ保險ガアリマス、比較表ヲ戴イタノダケニシマシテモ、健康保險アリ、厚生年金保險アリ、其ノ他ニモ此ノヤウナ保險ハ幾ツモアルヤウニ思ヒマス、ソレハソレハ、ニ違ツタ狙ヒヲ持ツテ居ルモノニハ違ヒアリマセヌガ、要スルニ社會保險ト云フベキモノト思ヒマス、デ、此ノ幾種類カノ社會保險ヲ或程度迄併合スルト云フコトハ出來ナイモノデセウカ、所謂一元化ト云フコト自體大シテ意味ノナイコトトハ思ヒマスガ、併シ少クモ事務ヲ簡捷ニスルト云フ便宜ハアルヤウニ思ヒマス、即チ幾種類カノ社會保險ヲ若干併合スルト云フコトニ相當理由ハアルノデヤアリマセヌカ、此ノ點ニ付キマシテ當局ハドウ云フ御考ヲ御持チデゴザイマセウカ

○政府委員(伊藤謹二君) 御話ノヤウニ色々ナ社會保險ガゴザイマシテ、事務上カラ申シマシテモ、又最モ強ク要望致シテ居リマスノハ、醫師會側ノ方カラ、保險醫側ノ方カラ何トカ統合シテ實ヒタイト云フコトハ永年ノ希望ガアル譯デアリマス、政府ノ方デモ、從來出來ルダケ併合シタイト云フ氣持デ、

嘗テ職員健康保險ト健康保險トヲ統合シタイト云ツタヤウナコトモ行ハレテ居リマスシ、當時社會保險ノ統合問題ニ付テハ研究ヲ重ネテ居ル譯ナデアリマス、御承知ノヤウニ色々各保險ノ對象、保險給付ノ條件、サウ云ツタ風ナモノニ付テ、各、特質ヲ持ツテ居リマスノデ、之ヲ形式的ニ統合スルコトハ決シテサウムツカシイ譯デハナカラウト思ヒマスルケレドモ、又却テ一ツノ法律ニ纏メマシタ結果、被保險者側ノ方カラ或ハ法律ノ理解ニ苦シムト云フヤウナコトモアルカモ知レマセヌシ、相當慎重ニヤル必要ガアルト思ヒマスルカラ、常ニ研究ハ意ヲナイデ居ル譯デアリマスガ、出來レバ統合シタイト云フ氣持ヲ十分持ツテ居ル次第デアリマス、今後モ十分研究ヲ重ネテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○村上泰一君 只今伺ヒマシタ社會保險ノ併合ト云フコトニ關聯シマスルガ、形ヲ一ツニシテシマフト云フコトハシナイトシマシテモ、實體ト云ヒマスカ、保險料ノ金額デアルトカ或ハ保險給付ノ内容デアルトカ、サウ云フモノヲ差支ナイ限リ彼此同一ニスルト云フコトハ實際ノ事務取扱者ニ取ツテ非常ニ便利デアラウト思ヒマスガ、是ハ厚生年金保險ノ給付デアルト、是ハ船員保險ノ給付デアルト、斯ウ云フ風ニ分ケマシテモ、其ノ中味ハ取扱上非常ニ便宜デアルト思ヒマス、戴キマシタ參考ノ勅令案ニ依リマス、今回船員保險ノ分ヲ厚生年金保險ノ分ト同様ニスルト云フコトガ、隨所ニ見ラレル、是ハ結構ナコトダト思ヒマス、出來ル限リ此ノ方針デ御進ミニナルコトヲ希望致シマスルガ、ドウゾ其ノ點ヲ御含ミ置キテ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ次ハ船員保險ノ會計ノコトデゴザイマス、色々資料ヲ戴キマシタ大イニ啓發サレマシタ、其ノ一ツ、收支狀況デアリマス、今日戴イタバカリノ新シイ資料デアリマスルガ、此ノ收支ノ差引ヲ見マスルト、毎年度ニ於テ多額ノ金額ガ殘金トシテ現ハレテ居リマスルガ、昭和十八年度ノ決算ニ依リマスルト、八百七萬圓餘、ソレカラ昭和十九年度ノ豫算ニ依リマスルト七百八十九萬圓餘、昭和二十年年度ノ豫算ニ依リマスルト、更ニ増加シマシテ千六百二十六萬圓餘ニナツテ居リマス、サウスルト私ハ保險ノ會計ノコトニ審ラカデアリマセヌカラ斷言ヲシ兼マスルガ、素人考デハ、此ノヤウニ多額ノ殘金ヲ出サナクテモ宜イデハナイカ、是ハ一年度ノ殘金デアリマスカラ、是ガ累積致シマシテ、過去數年間ニ於テ、可ナリノ巨額ノ積立金額ガ出來テ居ルモノト思ヒマスルガ、果シテサウ云フ必要ガアルノデセウカ、素人考デハ此ノ保險デ何モ此ノヤウニ澤山ノ金額ヲ殘サナクテモ宜イデヤナイカ、收入ヲ減ラサナリ支出ヲ多クナリシテ宜イデヤナイカト思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(伊藤謹二君) 御答ヘ致シマス、御承知ノヤウニ船員保險ハ疾病、療養ノ給付ト云ツタヤウナ其ノ年限リノ計算デ、其ノ年ノ經費ハ其ノ年ノ保險料デ賄ツテ宜シイ、給付ニ屬スル保險ト長期給付ト申シマスル養老年金デアリマス、遺族年金或ハ脫退手當金、斯ウ云ツタヤウナモノニ付キマシテハ、後年度ニ支出ガ始マリマスノデ、平均シタ保險料ヲ取ルト致シマスレバ、豫メソレニ備ヘタ保險料ヲ徵收シテ行カナケレバナラヌ譯デアリマス、從ヒマシテ船員保險モ年々斯ウ云フヤウニ八百萬圓乃至昭和二十年年度ニナリマスルト、千六百萬圓ト云フヤウナ剩餘金ガ出マスケレドモ、是ハ總テ責任準備金トシテ、將來ノ給付ニ備ヘルコトニナルデアリマス、大體差上ゲタ目論見書ノ中ニアツタンデヤナイカト思ヒマスケレドモ、大體五十年後ニナリマスルト云フト、責任準備金カラ生ズル利子及其ノ年度ノ保險料收入デ以テ其ノ年度ノ支出ヲ賄ツテトントンニ行ク、斯ウ云フ計算ニナルト思ヒマス

○村上泰一君 次ニ是ハ立法ノ形式ニ關スルコトデゴザイマスガ、此ノ法律ヲ見マス、所ドコ命令ヲ以テ之ヲ定ムト云フ所ガアリマス、其ノ命令ト云フノハ勅令ニハ限ラナイシ、從ツテ省令ヲ以テ定メラレルコトニナラウト思ヒマス、即チ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル、ソレカラ又此ノ法律ノ中ニ主務大臣ガ之ヲ定ムト云フ所ヲ見受ケマス、省令ヲ以テ定ムト云フノト、主務大臣ガ定ムト云フノハドウ云フ違ヒデアリマス、形式ニ於テドウ云フ違ヒガアリ、又何故サウ云フ區別ヲスルノデアリマス

大臣之ヲ定ムト致シマシタノハ確カ附則ニアツタカト思フノデアリマス、廢疾年金若シクハ廢疾手當金ヲ受ケタ者ニ對シテ、附則ノ第四條ニ「本法施行ノ際廢疾年金ノ支給ヲ受クル者ニ對スル障害年金ノ支給及其ノ者ガ死亡シタル場合ニ於ケル」云々ト云フ條項ニ付テ「主務大臣之ヲ定ム」トアリマス、此ノ條項ノ該當者ハ極メテ僅カデアリマス、只今ノ處、確カ二件、今懸案ノガ一件アリマシテ、三件位ニナルカト思ヒマス、法制局トモ打合せ致シマシタガ、サウ云フ件數ノ少ナイモノデアレバ適當ニ定メタラ宜イノデヤナイカト云フコトデ、敕令デ定メナクモ宜イノデヤナイカト云フ意見モアリマシテ、「主務大臣之ヲ定ム」トナツテ居リマス

○村上泰一君 次ニ此ノ保險ノ被保險者ニ付キマシテ一點御尋シタイト思ヒマス、ソレハ官吏及官吏待遇者ノコトデアリマス、現行法ニ依リマス、官吏又ハ官吏待遇者ニシテ俸給料ヲ受ケル者、ソレハ被保險者デハナイコトニナツテ居リマス、今回ノ改正ニ依ツテ其ノ條項ガ廢止サレマシテ、即チ俸給料ヲ受ケル官吏又ハ官吏待遇者雖モ被保險者タルモノト認メラレマス、然ル處、他ノ條項ニ於キマシテ其ノ官吏又ハ官吏待遇者ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ定メヲナスコトヲ得ルト云フ所ニ來ルヤウデアリマス、サウシテ矢張りソレハ被保險者トハシナイト云フコトニナルヤウニ思ハレマス、サウ云フ解釋デ宜シイノデスカ、又何故サウ云

○村上恭一君 サウシマスト第三十六條ニ於テハ二色ノ遺族ガアル譯デアリ

三

デアル、斯ウ云フモノデアラウト思フ
ノデアリマス、サウ云フ趣旨ヲ以テ、
此ノ戰時特例ニ關スル數箇條ノ規定ヲ
眺メマスルト、私ノ意ニ反スルモノガ
アリマス、是ハ現行法ニモアルコトデ
アリマシテ、改正法ニモ其ノ傳ハツ
テ居リマス、是ハ法律ノ立テ方トシマ
シテモ、一應已ムヲ得ナイコトデアラ
ウト思ハレマス、但シ其ノ趣旨ハ此ノ
機會ニ於テ十分明カニシテ置キタイト
思ヒマス、サウ云フ心持テ御尋スルノ
デアリマス、第二十二條ノ二、勅令ヲ
以テ指定スル區域ヲハ分リマスガ、
「主トシテ航行スル船舶」トアリマス、
此ノ「主トシテ」ト云フノハドウ云フ程
度ノモノヲ意味スルコトニナルノデア
リマスカ、ドウ云フ程度ノモノニ此ノ
規定ガ適用サレルノデアリマスカ
○政府委員(伊藤謹二君) 大體ハ船舶
船ニ依リマシテ、平水區域ヲ航行スル船
舶トカ、沿岸區域、近海區域、遠海區
域、斯ウ云フヤウニ航行制限ガゴザイ
マス、瀬戸内海ヲ主トシテ航行スル船
舶ト云フヤウナモノヲ除外シマスケレ
ドモ、其ノ他ノ船舶ニ付テハ、大體太
平洋、日本海ヲ航行スル船舶デゴザイ
マスノデ、比較的問題ハ少イノデハナ
イカト思ヒマス、先程御話ノヤウニ、
疑ハシキハ被保險者ノ利益ニ解スルト
申シマスカ、サウ云フヤウナ氣持テ運
用シテ參リタイト思フテ居リマス
○村上泰一君 其ノ區域ヲ主トシテ航
行スル船舶、ソレハ其ノ船舶ガ實際ニ
其ノ區域ヲ主トシテ航行シタル期間、
ソレヲ提ヘルノデセウナ
○政府委員(伊藤謹二君) 是ハ實際ハ
提ヘンクイカト思ヒマスノデ、其ノ主
トシテ航行スル船舶ガ日本ノ港ヲ發航
スレバ、其ノ時カラ基本ヲ計算スル、

斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス
○村上泰一君 不定期船ニ付テハ個々
ノ航海ニ付テ實際其ノ區域ヲ航行シタ
カドウカヲ見ル外ハアリマセヌガ、定
期船、計畫船ニ付テハ、其ノ區域ヲ
通ラヌ管ノ船舶ガ、ソレガ偶、其ノ區
域ヲ航行スルト云フコトモアリマス
ガ、其ノ場合ノ取扱ハドウナリマス
カ、定期船、計畫船、ソレハ勅令ヲ以
テ指定シタル區域ヲ航行スル船舶トナ
テ居ル、併シナガラ偶、其ノ計畫カラ
離レテ他ノ區域ヲ航行シタルコト云フ
ガアリマセウ、サウ云フ計畫外ノ區域
ヲ航行シタル場合ニ本條ヲ適用スルノ
カ、シナイノカト云フコトヲ伺ヒタイ
○政府委員(伊藤謹二君) 大體ニ於テ
適用ガ漏レルノデハナカラウカト思ヒ
マス、唯太平洋ハ二月、日本海ハ一月
ノ加算デアリマスカラ、其ノ加算ノ關
係カラ、此ノ二月ノ加算ノ區域カラ一
月ノ加算ノ區域ニ入ルカ、或ハ一月ノ
加算ノ區域カラ二月ノ加算ノ區域ニ入
ルカト云フ場合ガ起リ得ル、ソコデ何
時ガサウ云フ起算點ニナルカト云フ問
題ガ起ツテ來ルカト思ヒマスガ、是ハ
例外的ノ場合ニハ航海日誌ナリ其ノ他
ニ依ツテ判定スル以外ハナカラウカ
ト思ヒマス
○村上泰一君 其處ニ括弧シテ(主務
大臣ノ指定スル船舶ヲ除ク)トアリマ
スガ、是ハドウ云フ船舶ヲ指定スルノ
デスカ
○政府委員(伊藤謹二君) 是ハ實ハ日
本海ヲ全部適用スル積リデゴザイマス
ガ、唯日本海ヲ航行スル船舶ノ中ニモ、
極メテ短距離ヲ航行シテ居ツテ何等危
險ノナイモノガアリマス、今ノ所除外
シテ居ルノハ佐渡本土トノ間ノ定期
航海ヲシテ居ル船舶、ソレカラ隱岐島

ト本土トノ間ヲ航海シテ居ル船舶、サ
ウ云ツタヤウナ全然危險性ノ考ヘラレ
ナイヤウナ特定ノモノガアリマスレ
バ、ソレヲ指定シテ除外スルト云フコ
トニナツテ居リマス
○村上泰一君 此ノ指定ハドウ云フ形
式デ發動ナサルノデスカ
○政府委員(伊藤謹二君) 是ハ厚生大
臣ノ告示デ指定スル譯デアリマス
○村上泰一君 ソレカラ矢張り加算ノ
期間ヲ二月ニ付二月以内ヲ加算スル
アリマス、「以內」ト言ヒマスレバ、二
月モアリマセウ、一月半モアリマセ
ウ、一月モアリマセウガ、ソレハドウ
云フヤウニ御定メニナル積リデスカ
○政府委員(伊藤謹二君) 是ハマダ實
ハ關係各省ト相談致サナケレバ確定シ
ナイ譯デアリマスガ、今話合ヲ進メテ
居ル處デハ、太平洋ト印度洋ハ大體二
月ノ加算ニナル豫定デアリマス、日本海
ト渤海、是ハ大體一月ト云ツタヤウナ
風ニナルカト考ヘテ居リマス
○村上泰一君 勅令デハ斯ウ云フ場合
ニハ二月、斯ウ云フ場合ニハ一月ト云
フ風ニ、ハツキリ決メテオシマヒニナ
ルノデアリマスガ、或ハ又主務大臣ノ
認定ニ依ツテ二月ヲ與ヘテモ宜シ、一
月ヲ與ヘテモ宜イ、斯ウ云フ餘地ヲ殘
シテ御置キニナル積リデスカ
○政府委員(伊藤謹二君) 是ハ勅令デ
ハツキリ決メル豫定デゴザイマス
○村上泰一君 戴キマシタ勅令案ニハ
其ノヤウニ規定シテアリマスノデ私
ハ安心シタルデスカ、併シ勅令ハ勅令
ヲ以テ改正スルコトガ出來マス、將來
勅令デ釘付ケニセズニ主務大臣ノ認定
デ變更スルコトガ出來ルヤウニシヨウ
ト云フコトヲ御考ニナリヤシナイカト
云フ取越シ苦勞ヲ私ハ持ツノデアリマ

ス、サウ云フコトハシテ戴キタクナ
イ、初メニ申シマシタヤウニ、法規ヲ
明確ニスル爲ニト云フコトヲ私ハ希望
トシテ申上ゲテ置キマス
○委員長(伯耆二荒芳徳君) 村上委員
ニチヨツト申上ゲマスガ、今、厚生大
臣ガオイデニナツテ居リマスガ、渡邊
委員カラ御質問ガアルサウデアリマス
カラ、御忙シイヤウデアリマスカラ、
アナタノ……
○村上泰一君 ソレデヤ大臣ニ對スル
質問ヲ先ニ致シマシテ、後デ私ノ質問
ヲモウ少シ繼續サシテ戴キマス
○委員長(伯耆二荒芳徳君) 渡邊委員
ノ渡邊總務部 委員長ニ御願ヒ致シマ
ス、改正案ノ内容バカリデナク、之ニ
關聯シタル二三ノ問題ニ付テ質問ヲ致
シタイト思ヒマス
○委員長(伯耆二荒芳徳君) 大臣ニ對
スル御質問デスカ
○渡邊總務部 大臣ニデス、船舶保險
ノ利用ヲ好マナイ理由及之ガ對策ニ付
テ、是ハ昨日一委員ガ今度ノ改正案ニ
家族療養ノコトガナイガ、是ハドウ云
フ譯カト云フ質問ガアリマシタニ付キ
政府委員ガ、ソレハ家族ガ此ノ健康保
險ヲ利用スルノ餘リ好マナイカラダ
ト云フコトト、ソレカラ家族ハ國民健
康保險ニ加入サシテソレヲ利用サセル
カラ、此ノ二ツデ家族療養ヲ今度改正
案ニ入レナカッタト云フ御話デスカ、
私ハ世帯主ガ船舶保險ニ入ツテ居ルノ
ヲ、家族ヲ國民健康保險ニ加入サセル
ト云フノハ、實際ノ運上非常ニムツ
カシイ問題デ、是ハドウカト思ヒマス
ガ、其ノ項ハ暫ク措イテ、此ノ健康保
險ヲ利用スルノ好マナイト云フコト
ハドウ云フ譯カ、苟クモ此ノ船舶保險
改正ノ趣旨ハ、此ノ間提案ノ理由ニ説

明ガアリマシタヤウニ、決戰下海上輸
送ニ挺身シテ、戦力増強ニ敢闘スル船
員ニ對シテ、其ノ勞苦ニ報ユルト共ニ
保護ノ徹底ヲ期スルニアルト、斯ウ云
フ趣旨デ提案サレタノデアリマスカ
ラ、此ノ船舶ヲシテ後顧ノ憂ナク任務
遂行ニ挺身サセナケレバナラナイノデ
アリマス、ソレハドウ云フシテモ家族ノ
療養云フコトヲ取上ゲナケレバナラ
ヌト思ヒマス、是ハ健康保險ニハ第一
條第二項ニチヤント取上ゲテアリマシ
テ、被扶養者ノ疾病、負傷、又ハ分娩
ニ關シ保險給付ヲ爲スモノトスルト、
第一條ニ立派ニ取上ゲテアルノニ、此
ノ船舶保險ニ取上ゲラレナイ、ソレ
ハ之ノ利用ヲ好マナイカラト云フ理由
デ、是ガ立案サレナカッタノハ甚ダ遺
憾ダト思フ、デ此ノ國民健康保險ト云
フノハ、政府ガ非常ニ之ヲ強調シテ居
リマシテ、國民皆保險ト云フコトヲ強
調シテ居ツテ、又之ガ普及ニ努力シテ
居ル時ニ、之ヲ利用スルノ好マナイ
ト云フコトハ、是ハ是カラノ保險ノ普
及發達ニ非常ナル支障ガアルコトデア
ツテ、此ノ原因ハドウ云フ所カラ來テ
居ルノカ、又之ニ付テハ其ノ利用ヲ盛
ニセシムルヤウナ對策ハ考ヘテイラツ
シヤルカ、ソレニ付テ大臣ノ御答辯ヲ
戴キタイト思ヒマス
○國務大臣(廣瀬久忠君) 船員ノ後顧
ノ憂ヲナカラシメル爲ニ家族ノ診療ヲス
ルヤウニト云フ御趣旨ハ誠ニ御尤モニ
存ジマス、唯御話ノ健康保險ニ入ツテ居
ル者ガ家族診療ヲ能ク利用シナイト云
フコトハ、御承知ノヤウニ健康保險ノ
外ニ、國民健康保險法ニ依リ組合ヲ全
國ニ作リマシテ、是ハ數年來御承知ノ
ヤウニ非常ニ擴ツテ參リマシテ、今ハ
何千萬人ニナツテ居リマスガ、恐ラクニ

千萬人位ノ豫定ニナツテ居ル、健康保險ニ入ツテ居ル、國民健康保險組合ノ方ニ入ツテ居ルト云フヤウナ意味合デ、詰リ保險組合ノ方ノ保險ヲ利用スルノデ、ソレ健康保險ノ方ヲ利用シナイト云フヤウナ傾向ガアルヤウニ聞イテ居リマス、尙御聞ニナツテ居リマスル船員ノ家族ノ診療、此ノコトニ付キマシテハ色々研究ヲ致シテノデアリマスガ、矢張り是ハ保險技術ノ上カラモナカ、困難ナ點ガアルヤウデアリマス、ソレカラ矢張り船員ノ家族ハ國民健康保險ノ保險組合ニ加入シテ貰ッタラドウカト云フヤウニ考ヘテ居ルノデ、此ノ中ヘ入レテ置カナカッタノデアリマス

○渡邊覺造君 實際問題トシテ先程申シマシタガ、世帯主ガ船員保險ヘ入ツテ居ル、家族ヲ國民健康保險ニ依ル組合ニ加入サセルト云フノハ實際運營上、是ハ非常ニムツカシイと思ツテ居リマスガ、是ハ質問ハ止メテ置キマス、ソレカラ此ノ船員保險法施行規則第二十四條ノ三ニ、是ハ省令デ掛ツテ居リマスガ、「保險醫及保險藥劑師ハ別ニ定ムル療養ノ擔當ニ關スル規程ニ從ヒ懇切丁寧ニ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ療養ヲ給付ヲ擔當スベシ」、斯ウアルノデアリマスガ、茲ニ特ニ「懇切丁寧」ト云フ言葉ヲ使ツテ技ニ誣ハナケレバナラナイ理由ハ、何カソコニ今モ前委員カラ質問ニナリマシタヤウニ、不潔切、不丁寧デハナイカト云フ事カラシテ技ニ特ニ誣ハレタノデスカ、或ハ又別ナ意味デ技ニ誣カレタノデスカ、之ヲチヨット御伺ヒ致シマス

○國務大臣(廣瀨久忠君) 仰セノ條文ハ、船員保險法ノ施行規則デ、省令デ

ゴザイマス、御承知ノヤウニ、省令デアリマスカラ、餘程法律的ニハ、法律、勅令、省令ト云フヤウナ順序ニナツテ居ルノデ、極ク打割ツテ書カウト云フコトガ根本デアラウト思ヒマスルシ、特ニ保險醫ノ問題ニ付キマシテハ一ツ懇切丁寧ニ願ヒタイ、斯ウ云フ意味ヲ示シタモノト存ジテ居リマス

○渡邊覺造君 保險醫ノ不潔切ト云フコトハ屢、耳ニ致シマスシ、延イテ先程モ申シマシタヤウニ、保險所ノ利用ト云フモノガ比較的少ナイ、是ハ一體ドウ云フ所カラ來テ居ルカト云フコトニ付テ、私ハ大體三ツニ考ヘテ居リマスガ、政府ハ之ニ對シテドウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカ、御所見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ、保險醫ノ立場ト云フモノヲ能ク理解シ、同情シナイ傾向ガアリハシナイカト云フコトガ第一デス、御存ジノヤウニ、健康保險ハ大正十一年カニ立案サレタモノデ、自由主義的經濟時代ニ於テ、當時ノ労働者救済ノ一ツトシテ、社會政策トシテ立案サレタモノト存ジテ居リマス、此ノ健康保險ハ從ツテ當時労働者ノ福祉施設ノ範圍ヲ出デナカッタノデアリマス、然ルニ大東亞戰爭ノ勃發ト共ニ、全産業機構ガ高度國防國家體制ニ於ケル生産機構ガ再編成サレタノデアリマス、從ツテ今迄醫學界カラ殆ンド顧ミラレナカッタ産業醫學ト云フモノガ急ニ姿ヲ現ハシ始メタノデアリマス、即チ労働者ノ健康確保ト云フモノガ生産増強ノ基礎ヲ成スモノデアルト云フコトガ認識サレ、強化サレタ爲ニ、工場醫、殊ニ保險醫ト云フモノハ、單ナル生産戰ニ於ケル治療醫家トシテバカリデナク、更ニ進ンデ、生産戰ニ於ケル醫學指導者ノ重大任務ヲ帯ビル

○國務大臣(廣瀨久忠君) 仰セノ條文ハ、船員保險法ノ施行規則デ、省令デ

ニ至ツタノデス、斯クノ如ク保險醫ノ實務ハ重大ニナツタニモ拘ハラズ、之ニ物心兩方面共國家カラ之ニ酬イラレル所ガ少イデヤナイカ、殊ニ此ノ健康保險或ハ國民健康保險ニ於テ、一二ノ心得違ヒナ保險醫ガアルト、ソレヲ論議ニ上ボシテ、之ニ批判ヲ加ヘルガ如キハ、是ハ全國ノ保險醫ノ心證ヲ非常ニ害スルモノデアアル、寧ろ國家ハ丁度産業労働者ヲ、産業戰士トシテ之ヲ待遇スルト同様ナ心持ヲ持ツテ保險醫ハ待遇シナケレバナラス、ソレニ一二ノ不心得ナ者ヲ取上ゲテ、全部ノ保險醫ヲ論ズルヤウナ傾向ガ今迄アツタノデアルカラシテ、是デハ保險醫ハ挺身奉公スル、感奮興起シテ御奉公スルト云フ氣ニナレヌデヤナイカト、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、次ニ此ノ藥品及醫療資材ノ不足、是ハ物資不足ハ單リ我が醫療方面バカリデナイ、此ノ決戰下ニ於テハ何レノ方面ニ於テモ、物資ノ不足ハ是ハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、殊ニ此ノ醫療資材ノ不足ハ、厚生省デ既ニ御承知ノヤウニ甚ダシイノデアリマス、此ノ昭和十八年度第三四半期ト、昭和十九年度ノ第三四半期ノ藥品ノ配給事情ハ、是ハ十八年度ニナツテハ非常ニ逼迫シマシタガ、其ノ十八年度ト十九年度ノ同第三四半期ヲ比較シテ見マス、昭和十八年度第三四半期ニ百十五品目配給ニナツタモノガ、昭和十九年度ニ僅カ六十品目配給ニナツタト云フコト、結局四十三・四(パーセント)、即チ四割強ト云フモノガ入手出來ナカッタヤウナ事情デアリマス、ソレカラ又配給サレタモノノデモ、需要量ノ一割乃至三割程度デアツテ、需要ヲ到底充スコトハ出來ナイ、從ツテ非常ナ藥品及醫療資材ノ闇ト云

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記中止

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記中止

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記中止

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記中止

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記中止

ノ各位モ皆醫師會ノ會員トシテ非常ニ工場醫療ノ問題等ニ付テモ、非常ニ獻身的ノ働きヲ致シテ居ラレコトニ對シテハ、非常ニ感謝ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、サウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、私共モ決シテ保險醫ノ一二ノ人間ニ假リニ誤ガアリマシテモ、ソレヲ以テ全般ヲ推スト云フヤウナ考ハ毛頭持ツテ居ラヌノデアリマシテ、此ノ頃ハ全國ノ醫師ノ數ガ非常ニ減ツテ、軍ニ動員セラレテ、其ノ爲ニ非常ナ老齡ノ方モ、從來働イテ居ラナイ老齡ノ方迄モ出テ働イテ居ルト云フ實情デアリマス、デアリマスカラ、私共ハ決シテ保險醫ノ一二ノ問題ノ爲ニ全般ヲ推シテ兎ヤ角言フト云フ考ハ毛頭持ツテ居ラヌノデアリマス、ソレカラ第三ノ問題ト致シマシテ被保險者ノ物心兩面ノ狀況ガ變ツタ、是ハ御示ノ點ガ具體的デアリマスガ、或ハ自分デ診療シテ貰フ保險醫ニ行カナイ、贅澤ニナツタ、金持ニナツタト云フコトデモオ指シマシタ居ルカト思ヒマス、是ハ今直グニドウ云フ譯ニモ參リマセマ、矢張り苟クモ國家ガ制度デ設ケテ居ラマシル所ノ保險制度等ニ付キマシテハ、出來得ル限り之ヲ利用サセルヤウニ致サナケレバナリマセヌト云フコトハ勿論デアリマス、最近色々保險醫療ノ問題ニ付テ研究ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、其ノ一端トシテ二月一日ヨリ單價ノ改正モ行ツタ居ル譯デアリマス、尙此ノ問題ニ付キマシテハ御話ノ趣旨モ參考ト致シマシテ篤ト研究ヲシタイト思ヒマス、後ハ速記ヲ止メテ……

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記中止

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記中止

○渡邊總造君 大都市ニ於ケル病院ヲ疎開スル御考アリマスカドウカト云フコトデアリマス、最近名古屋東京等ニ於ケル大都市ノ空襲ガ頻繁ニナリマシテ、是等ノ其ノ病院ニ於ケル外來患者ノ數並ニ入院患者ノ數ト云フモノハ非常ニ激減シテ參ツテ居リマス、二分ノ一乃至三分ノ一ニ減ツテ居ルヤウナ状態デアリマス、是等ハ此ノ空襲下病人側ニナツテモ病院側ニアツテモ是ハ已ムヲ得ナイコトト存ジテ居リマス、是ハ一ツノ一例デゴザイマスガ、東京デ或知合ノ者ガ盲腸炎ニナツタ、ソレデ或大キイ病院ヘ行ツテ手術ヲ願ツタ、ドウモ空襲下ニ手術ヲスル患者ヲ置イタノデハドウモ運搬ニ困ルカラ、成ルタケハ延シテ呉レ、マア盲腸炎デアラカラシテ、若シ空襲ニナツテモ運搬サレナクテモ宜イカラ、病室ニ置イテモ宜イカラ入院サシテ呉レト無理ニ頼ンデ入院サシテ貰ツタト云フ話ガアリマス、斯ウ云フ空襲下ニナリマス、病人ヲ大都市内ニ置クト云フコトハドウカト思フ、デ是ハ今ノ内ニ此ノ大都市ニ於ケル病院ト云フモノハ疎開シナクハバナラヌト思フノデスガ、之ニ對シテ政府ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ

○國務大臣(廣瀬久忠君) 御話ノヤウニ空襲下ニ於ケル病院ノ實情ハ誠ニ困ツタモノデアアルコトヲ私モ存ジテ居リマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、精神病院等ニ付キマシテハ疎開ヲヤリマシテ、地方ニ移シタモノモアリマス、ソレカラ失明軍人ナドニ對スル病院等モ移シタモノモアリマス、唯一般ノ病院ニ付テハ、計畫ノニ之ヲ實行致シテ居リマセヌ、實際問題トシテハナカ、困難ガ伴フ點ガアルヤウデアリマス、併シ此ノ點ニ付キマシテハ、私共トシテモ色々心配ヲシテ研究ヲ致シテ居リマスガ、今斯ウ云フ工合ニヤルト云フヤウナコトヲ申上ゲル程度ニハナツテ居リマセヌ、十分ニ研究ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○渡邊總造君 次ニ醫師ノ動員配置ニ付テ政府ノ御考ヲ御伺ヒ致シマス、昨日政府委員ノ説明ニ船醫ガ非常ニ少イ、大キナ艦船二、三隻ニ一人ノ船醫ガ居ルト云フ程度デアツテ、アトハ船醫ノミナラズ工場醫ニ致シマシテモ、地方醫ニ致シマシテハ醫者ハ非常ニ少イ、併シ其ノ場所ニ依リマシテハ或都市ニ於テハマダ相當醫者ノ過剩ナル場所ガアリハシナイカ、デスカラ之ヲ動員シテ、サウシテ此ノ適正配置ヲ行ツタラドウカト云フ考ナデスガ、此ノ間次官通牒デ昭和十九年十二月六日、醫療關係者ノ徵用ニ關スル件ニ付テ厚生次官通牒ニ醫師ノ徵用ト云フコトヲ言ツテ來マシタガ、徵用スベキ醫師ハ、差當リ主トシテ醫事ニ關スル業務ハ、從事セザル者及ビ比較的重要ナラザル業務ニ從事中ノ者トスルコトト云フコトガアリマスガ、主トシテ醫師ニ關スル業務ニ從事シナイ醫者、或ハ比較的重要ナラザル業務ニ從事中ノ者、是非非常ニ漠トシテ微温的ナモノデアアル、是デ果シテ政府ガ望ム所ノ員數ダケヲ徵用出來マスカドウカ、是ハ甚ダ私ハ極ク僅カデハナイカ、デ斯ウ云フ決戦下デ、醫師トシテハ資材ハナイ、空襲下デ外來ハ少イ、入院ハ少イ、ソレカラ國家の挺身診療ハヤル、防空救護モヤル、國家の奉仕ニ殆ド携ツテ居ルヤウナ状態デアアルカラ、醫師自身トシテモ何トカ今ノ中政府ガ手ヲ打ツテ

吳レ、モウ開業ハドウデモ宜イノダ、國ガ滅ビルカドウカト云フ境ナシダカラ、モウ國家ガ斯ウシロト云ヘバ、ソレニ挺身シテ行クト云フコトヲ考ヘテ居ルノダラウト思フノデアリマス、是ハ厚生省デモ既ニ大阪ノ開業醫ガ一團トナツテ醫療團ニ委讓シヤウト云フ問題ガ起キテ居ルガ如ク、此ノ風潮ハ全國ノ醫師ヲ通ジテノ風潮ダト思フノデアリマス、デ今コソモツト強力ニ醫師ヲ動員シテ、例ヘバ人口二千人ニ對シテ一人トカ、三千人ニ對シテ一人トカ云フ或基準ヲ設ケテ、サウシテ醫師ノ動員ヲ強力ニ行ツテ適正配置スル必要ガアルノデハナイカ、是ハ今ガ此ノ決戦下ニ於テハ一番大事デハナイカ、サウシテ又ヤルベキ一番好イ時期デアアルノデハナイカト思フノデスガ、之ニ對シテ政府ノ御考ハドウデアリマスカ、ソレヲ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(廣瀬久忠君) 御話ノヤウニ開業醫ガ今日全ク國家ノ爲ニ働カウト云フ精神デアラレル方ガ多イハ誠ニ感謝ニ堪ヘマセヌ、ソレニ基キマシテ實際必要ナ方面ニ適當ナ配置ヲスルコト云フコトハ誠ニ御説ノ通りデアリマス、就キマシテ、昨年特ニ徵用ヲスルト云フコトニ致シマシテ、既ニ疎開兒童ノ或方面ニハ矢張り徵用ヲシテ配當ヲスルト云フコトモヤリマシタ、其ノ他ニモ工場等ニオ醫者サンガ必要ナ場合ニ、人ガナケレバ徵用スルト云フ方針デ進ンダノデアリマス、ソコデ先程御話ノ通牒ニハ極ク穩カニ書イテアルコトデアリマスガ、是ハ矢張り初メテハ過ギルコトハ、醫師ノ家庭ノ事情等モアリマセウシ、色々勤務者ノ場合等トバ、又餘程事情モ違ツテ居リマセウカラ、先づ初メハサウ云フヤウナ方針デ進ム、ケレドモ御話ノヤウニ必要ガアリマスレバ、是ハ徵用ヲモツト強力ニ施行シナクハバナラヌト思ヒマス、實際ハ又先程渡邊委員ノ御話ノヤウニ、オ醫者サンガ進ンデ働カウト云フ氣持デ居ル爲デアリマセウカ、徵用ト云フ所迄行カナイデ、役所ノ口入ニ依ツテ必要ナ方面ニ進ンデ動イテ呉レテ居ルヤウナ實情モアリマス、サウ云ウヤウナ事情デアリマスカラ、是デ満足ダ、此ノ方針ダケデ満足ダトハ思ツテ居リマセヌ、モツトヤラナケレバナラヌ、ガ併シ、オ醫者サンノ方ガモツト協力シテ呉レ、バ、徵用ニ依ラズシテモ相當行ケルンデヤナイカト思フヤウナ節モアリマス、實際數字ノニ申シマシテモ、オ醫者サンノ數ガ戰爭前ノ半分位ニナツテ居ルノデアリマスカラ、非常ニ逼迫ヲ致シテ居リマス、ソコデ此ノ際ハ御話ノヤウニ適當ナ配置ヲスルト云フコトガ先づ第一デアリマスカラ、是ハ開業醫師諸君ノ協力ヲ得、私共モ已ムヲ得ズバ徵用ト云フヤウナ方法ヲ執ツテ、出來ルダケノ充足ヲ圖ツテ行キタイ、併シソレダケデモ心許ナイコトデアリマスカラ、尙オ醫者サンノ數ヲ増ス方法ヲ考ヘナケレバイカヌト云フノデ、其ノ方法ニ付テモ今案ヲ作リツ、アルヤウナ次第デアリマス

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

○委員(伯爵二荒芳徳君) 村上委員ニ御伺ヒ致シマス、大臣ノオイデノ必要ハアリマセヌデスカ

事由アル場合ト申シマスノハ、今日ノ處デハハツキリシテ豫定モゴザイマセヌノデスガ、或ハ將來旅順ノ閉塞隊ト云ツタヤウナ、ソレニ類スル戦法ガ用ヒラレルカモ知レナイ、今後戦術ノ如何ニ依リマシテハドウ云フ事態ガ出テ來ルカ分ラナイカラ、サウ云フ場合ニハ最高限ノ例ヲ設ケルコトガ必要デヤナノカト云フノデ、特別ノ事由アル場合、云フ條項ヲ入レテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ其ノ都度勅令ヲ御制定願フ豫定デゴザイマシテ、斯ウ云フ場合ガ該當スルト云フ具體的ナモノハ、今日ノ處デハナイノデゴザイマス

○村上泰一君 サウスルト、是ハ矢張り勅令ヲ以テ規定セラレルノデスカ

○政府委員(伊藤謹二君) サウデス

○村上泰一君 其ノコトハ此處ニハ表現シテアリマセヌデスネ

○政府委員(伊藤謹二君) 「特別ノ事由アル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ」、此ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ガ係ルト考ヘテ居リマス

○村上泰一君 此ノ戰時特別ニ關スル新シイ規定ハ特殊ノ場合ニ於ケル被保險者ノ利益ヲ考慮シタモノデアリマシテ、誠ニ結構ナ規定ト思ヒマス、程度ニ付キマシテハ見解ノ相違ハアリ得ルコトデアリマスガ、兎モ角モ現行規定ニ比ベマスレバ遙カニ進歩シタモノデアリマスルカラ、結構ト思ヒマスルガ、唯此ノ法律ノ規定ニ於キマシテハ、先刻來指摘致シマシタヤウニ、大本ハ此ノ法律ニ規定シテアリマシテ、少クトモ勅令ヲ以テ規定サレルコトニナツテ居リマス、併シ尙若干ハ當該官廳ノ裁量ノ餘地ガ残ツテ居リマス、ソレハソレトシマシテ已ムヲ得ナイコトト思ヒ

マスルガ、之ヲ實際運用スルニ當リマシテハ、關係官廳ニ於テ深基ナル御注意ヲ煩ハシタイノデアリマス、即チ此ノ特別ノ受テベキ船舶ニ乗組ンデ居ル多クノ船員ノ間ニ不公平ナ事態ヲ生ズルコトノナイヤウニ、甲ニハ多ク與ヘ乙ニハ少ク與ヘルト云フヤウナコトノナイヤウニ、公平誠實ト云フコトヲ、是等ノ規定ノ適用ニ付キマシテハ關係官廳ニ於テ特別ニ御注意アラムコトヲ私ハ希望シテ置キマス、ソレカラ私ノ質問ノ最後デゴザイマスガ、此ノ改正法律ノ附則第一條ニ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマス、斯ウ云フ書キ方ハ多クノ法律ニ見ル所デアリマスガ、實ハ適當デハナイノデ、折角立派ナ法律ガ出來マシテモ、ソレハ何時カラ施行スルノカ、法律ノ上デハ分ラヌ、行政部ニ委任シテシマフト云フコトニナリマス、所謂龍ヲ畫イテ睛ヲ點ジナイト云フヤウナ感じガアリマスノデ、斯様ナ規定ハ成ルベク止メルガ宜イ、法律自體此ノ施行ノ期日ヲ定メルガ宜イト云フノガ私ノ宿論デアリマス、此ノ法律ニ於キマシテ矢張り斯ウシタ規定ヲ御設ケニナルノハドウ云フ理由デアリマスカ、要スルニ實施ノ準備ノ爲ト云フコトデアリマセウガ、其ノ實施ノ準備ト云フコトヲ若干詳シク御説明願ヒタイ、我々納得シマスルヤウニ、サウシテ只今ノ所、凡ソ何日頃カラ此ノ改正法律ヲ施行スル御見込デアアルカ、併セテ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(伊藤謹二君) 本法ヲ施行スルニ付キマシテハ、今回此ノ被保險者範圍ノ擴充等ヲ行ヒマシテ、數萬人ノ被保險者ガ殖エル譯デアリマス、ソレノ資格得喪ノ手續等ニ相當準備ヲ要ス

スル譯デアリマス、從ヒマシテ普通ノ法律ノ例ニ從ツテ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニ致シタ次第デアリマスガ、我々ト致シマシテハ一日モ早く本法ヲ施行致シタイト云フ氣持ヲ持チマシテ、極力事務當局ヲ督勵致シマシテ、目下ノ所本年ノ四月一日カラ本法ヲ施行致シタイ、ソレ迄ニ諸般ノ準備ヲ整ヘタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○村上泰一君 私人質問ハ是デ終リマ

○子爵大久保敦尚君 昨日船ノ要員ニ付テ御質問ガ相當デアリマシタガ、私モ此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、ソレハ船主ガ新造船ヲ受取り又ハ購入ニ依ツテ、船舶ヲ所有スルニ至ツタ時ハ、從來ノヤウニ、從來ハ船主ノ自由ニ其ノ乗組員ヲ求メルコトハ出來マシタガ、斯ウ云フ時代ニナリマシテ、ナカナカ乗組員ヲ其ノ新造ニ充當スルコトガムツカシイ、斯ウ云フ場合ニ船舶運賃會ガ、其ノ船舶乗組員ヲ船主ニ對シテ保證デモシナイ限リハ、ナカノ新船ノ乗組員ノ充當ハムツカシクナリハシナイデラウカ、斯ウ思ヒマスガ、此ノ點政府ノ御考ハドウデアリマスカ

○政府委員(有田喜一君) 御承知ノコトト存ジマスガ、船員ヲ待遇官吏ニ致シマスニ相關聯致シマシテ、最近新船乗組員ヲ全部運賃會ニ於テ、一元のニ之ヲ管理スルコトト致シタノデアリマス、仰エノ如ク今後ハ運賃會デ全面的ニ募集其ノ他ノ任ニ當リマシテ、運致致スコトニナツテ居リマスカラ、御心配ノヤウナ點ハ今後ハ無クナルト思ヒマス

○子爵大久保敦尚君 ソレカラ昨日保險料ノ問題デ、今迄ハ保險料ノ三分ノ二ハ船主ガ、三分ノ一ハ船員ガ負擔シ

テ居ツタガ、待遇官吏ノ實施後ハ、船舶運賃會ガ現在船主ガ負擔シテ居ル三分ノ二ノ保險料ヲ負擔スベキモノデハナイカト云フ意味ノ質問ヲ私ガ致シマシタガ、私ノ言葉ノ不十分ナ爲ニ、御答ノ意味ガ十分私ニ分リ兼ねル點ガアリマシタカラ、モウ一應其ノ點ヲ承ルナラバ非常ニ幸ヒト思ヒマス

○委員(伯耆二荒芳徳君) 政府委員ハ質問ノ御趣旨ガ御分リニナリマシタ

○政府委員(伊藤謹二君) サウデス

○委員(伯耆二荒芳徳君) 其ノ前カラ續イテ居ルカモ知レマセヌガ、一寸要項ヲ仰ツシヤツテ戴イタ方ガ……簡單デ宜シウゴザイマス

○子爵大久保敦尚君 從來保險料ヲ折半ツト前ニハ半分宛船主ト乗組員ガ折半シテ負擔シテ出シテ居タガ、昭和十八年ノ秋頃カラ船主ガ三分ノ二、ソレカラ船乗り、船員ノ方ガ三分ノ一ト云フ風ニ承ツテ居ルノデスガ、今度ハ船舶運賃會、所謂待遇官吏ニナルト云フ此ノ間ノ規定ガアリマシタ後ハ、保險料ノ負擔ノ一部ヲ運賃會ノ方デ負擔スベキモノデヤナイカ、斯ウ云フ質問ナノデアリマス

○政府委員(伊藤謹二君) 從來船員保險ノ保險料十圓、之ヲ船主ガ六圓負擔シ、船員ガ四圓負擔シテ六對四ノ割合ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ大體保險料ハ雇傭主ノレカラ被使用者折半負擔ト云フノガ建前、普通ノ例ニナツテ居ル譯デアリマスケレドモ、先年ノ船員保險ノ改正ノ際ニ船主ガ二錢ダケ餘計負擔スルヤウニナリマシタノハ、是ハ船員法デ船主ガ船員ニ對スル扶養ノ義務ヲ持ツテ居ルカラ、ソレ

ヲ船員保險法デ吸收致シマシタ關係上、折半負擔ノ原則ガ形ノ上デ變更ガ加ヘラレマシテ、船主ガ六錢、船員ガ四錢、斯ウ云フコトニナツタ譯デアリマス、今回ノ船員保險料ノ改正ニ當ツテモ大體半負擔ト云フノガ原則デゴザイマスケレドモ、從來ノ船員保險、船員法ニ基ク船主ノ扶養、扶助、之ヲ齊シク繼承致シマスノト、今回新タニ船員法上ノ葬祭料ノ支給ノ制度ヲ此ノ制度ニ吸收致シマシタ關係上、其ノ負擔部分ヲモ加ヘマシテ十七圓ノ所、船主ハ十圓船員ガ七圓、斯ウ云フ負擔割合ニ致ス譯デアリマス、處デ此ノ船主ガ負擔スベキ部分ノ百圓ニ付テ十圓、一圓ニ付テ申シマスレバ十錢デゴザイマスガ、船主ノ負擔スベキ部分ハ今後船舶運賃會ガ船主トシテ之ヲ負擔スルコトニ相成ル譯デアリマス

○委員(伯耆二荒芳徳君) 別ニ御質問認メマス、只今ヨリ討論ニ入りマス

○渡邊鑒造君 贊成ノ意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス、本法法律案ハ此ノ議會ニ於テ多數政府ヨリ提案セラレマシタ法律ノ中、私ハ極メテ時局ニ適切ナル法案デアルト思フノデアリマス、ト申シマスルノハ大東亞戰爭、或ハ更ニ其ノ以前ノ支那事變以來引續イテ、今回ノ戰爭ニ對スル海上輸送ニ從事致シテ居リマス船員ノ勞苦デアリマスルガ、是ハ世間デモ既ニ、今回ノ大戰ハ或ハ補給戰デアリ或ハ輸送戰デアルト申サレル如クニ、廣キ戰線ニ互ツテ兵員、物資其ノ他戰爭ニ重要ナル所ノ資材、或ハ國內ニ於ケル是等ノ原料、材料ノ補給運送、斯ウ云フコトガ戰爭ノ重大ナル要素ヲ成スノデアリマシテ、之ニ從事スル海上運送ノ船員等ガ非常ニ廣イ戰

爭區域ノ間又ハ大東亞領域内ニ於キマシテモ、各島嶼ノ間ヲ點綴シテ北カラ南ニ、東カラ西ニ、而モ或ハ飛行機ニ或ハ潜水艦ニ、其ノ他様々ノ戰爭ニ關スル危險及ビ氣候、風波ノ困難ヲ凌イデ此ノ大目的ヲ達シテ居リマスルガ故ニ、今日迄赫々タル戰果ヲ擧ゲ、今日ノ狀況ニ迄至ツテ居ルノデアリマスルガ、戰局ノ次第ニ苛烈ニナルト共ニ、此ノ船員ノ勞苦ハ一層其ノ度ヲ増スモノト信ズルノデアリマシテ、此ノ間ニ處シテノ船員一同ノ勞苦ニ對シテハ、私ハ衷心ヨリ感謝ノ念ニ堪ヘナイノデアリマス、是ハ單リ私ノミデハアリマセヌ、同僚貴族院各位ハ勿論ノコト、國民一般ガ感謝感激致シテ居ルコトト私ハ信ズルノデアリマス、其ノ故ニ政府モ茲ニ見ル所モアツテ此ノ法案ヲ提出致シマシテ、此ノ海員ノ後顧ノ憂ヒヲセメテモ減少スル意味ニ於テ、被保險者ノ範圍ヲ増シ、保險給付ノ範圍ヲ擴張シ、更ニ遺族ニ對スル給付迄モ茲ニ設ケテ一層士氣ヲ昂揚シテ、此ノ重大ナル戰局ヲ乘リ切ル爲ニ後顧ノ憂ヒナク、船員ハ固ヨリ其ノ家族ニ於テモ喜ンデ國難ニ殉ズル、若シクハ國難ニ挺身スルト云フコトヲアラシメムト欲シテ、茲ニ此ノ法律案ガ提案サレタモノト思フノデアリマス、即チ「海上輸送ニ挺身敢闘スル船員ノ援護ノ徹底ヲ圖リ以テ船員ノ士氣ヲ昂揚シ海上輸送力ノ飛躍的増強ニ資スル」云々、誠ニ適切ナル法案デアリ、我々ハ長キ間、及ビ今後引續イテ絶大ナル困難ニ打克チツ、此ノ戰局ニ挺身シテ居ル海員諸君ニ衷心ノ同情、感謝ヲ致スト共ニ、此ノ法案ニ對シテハ滿腔ノ贊意ヲ表スルモノデアリマス

○委員長(伯爵二荒芳德君) 只今本法

律案ニ對シテ、熱烈ナル御贊同ノ御意見ガ一委員カラ出マシタ、皆サンモ全ク御同感ト存ズル次第デアリマシテ、外ニ御發言ガナケレバ、是ヨリ採決ニ入りタイト存ジマス、本案ニ對シテ可否ノ決ヲ採リタイト思ヒマス、可決スベキモノト御考ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔總員擧手〕

○委員長(伯爵二荒芳德君) 全會一致可決スベキモノト御認ニナリマシタ、之ヲ以チマシテ本委員會ハ終了致シマス

午後二時五十六分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵二荒 芳德君
副委員長 男爵柴山 昌生君
委員

侯爵中御門經恭君
子爵保科 正昭君
子爵大久保教尙君
村上 恭一君
田邊 治通君
大橋 八郎君
男爵神山 嘉瑞君
渡邊 覺造君
秋田 三一君

國務大臣 厚生大臣 廣瀨 久忠君

政府委員 厚生政務次官 中井川 浩君
厚生參與官 馬場 元治君
厚生省保險局長 伊藤 謹二君
厚生書記官 花澤 武夫君
運輸通信省海運總局總務局長 有田 喜一君